

登録コード	HM123300	開講年度	2026			
授業題目	眼科診断治療学特論				担当教員	村田 敏規 他
英文授業名	Diagnosis and Therapy in Ophthalmology				副担当	平野 隆雄
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	博士課程学生
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				眼球の視力低下につながる疾患につき、その病態、臨床所見そして治療法の発展につき、現在の世界最先端の情報を、学びさらに収集できる技術を身に着けることができるようになる。	
(2)詳細/Detailed information						
(3)授業の概要/Overview of course	15回にわたり講義を行い、眼科的疾患の診断、治療研究の分野で活躍できる人材となるように育てる					
(4)授業計画/Course plan	第1回から5回 眼科疾患を、角膜、隅角、虹彩、毛様体、網膜、脈絡膜にわけ、その病態と治療の最先端につき論文演習を行う 第6回から第10回 各人の研究テーマを決定し、その論文調査、過去の症例の検討をおこない取りまとめる 第10回から13回 各研究症例を、事例ごとに取りまとめ、報告および検討を行う 第14回と15回 各研究事例に関する全体討議を、眼科医局員の前でおこない、討議する					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	各研究定テーマを、眼科の教授、講師、および助教で5段階で評価する研究会を開催する。平均3段階を取得できれば合格とする。 優 眼科用語集にある疾患の7割以上、疾患病態と治療法を簡単に説明できる。 良 眼科用語集にある疾患の6割以上、疾患病態と治療法を簡単に説明できる。 可 眼科用語集にある疾患の5割以上、疾患病態と治療法を簡単に説明できる。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	論文に関してはテーマごとにPubMedで検索して、各人でPDFを手に入れて検討に利用する					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問は担当教員が随時受け付ける					
(8)授業の形式/Course format	授業は各指導教員の研究室で、対座方式でおこなう					